

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月20日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県生活交通対策協議会	広島電鉄株式会社 湯来	五日市駅南口～杉並台団地～湯来ロッジ前	系統の適切な計画について引き続き関係自治体と検討する。	A	A	今後、地域公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、市町と共同して再編を検討する。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画に基づき、再編を検討するにあたっては、関係自治体等と連携し、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～可部・加計～三段峡		A	A		
	広島電鉄株式会社 三段峡	広島バスセンター～広島IC・戸河内IC～三段峡		A	A		
	広島電鉄株式会社 琴谷	広島バスセンター～安佐営業所～琴谷車庫		A	A		
	広島電鉄株式会社 今吉田	広島バスセンター～可部・小浜・大釘～今吉田公民館		A	A		
	広島電鉄株式会社 津田	廿日市市役所前駅～津田		A	A		
	広島電鉄株式会社 阿戸	熊野営業所～阿戸学校		A	A		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県生活交通対策協議会	芸陽バス株式会社 瀬野・広島	宮の前～海田～広島バスセンター	コロナ禍の影響で、感染者数増加と比例して利用者数も減少していたが、減便等を行わずサービス水準を維持することができた。	A	A	2023年度に国道2号線バイパス完成予定となることを受けて、必要に応じて所要時間や始発時刻の見直しを行う。	各系統は、ほぼ計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後、新たな道路の完成や、他の交通機関等の連携により、利便性の向上や、新たな需要の取り込みにつながることを期待する。
	芸陽バス株式会社 東雲	宮の前～市役所前～広島バスセンター		A	A		
	芸陽バス株式会社 西条・広島	西条駅前～瀬野駅～広島バスセンター		A	A		
	芸陽バス株式会社 西条・広島	八本松～海田～広島バスセンター		A	A		
	芸陽バス株式会社 西条・竹原	西条駅前～新庄～竹原駅		A	A	2023春の列車改正を見据え、新幹線東広島駅での接続時間を確保し、県外からの観光客需要を取り込む。	
	芸陽バス株式会社 竹原・三原	三原営業所～すなみ荘前～中通		A	A	経路の変更についての協議が進んでおらず、引き続き三原市と協議を行う。	
	芸陽バス株式会社 沼田東	三原営業所～沼田東団地上 本郷駅・松江～三原営業所		A	A		
	芸陽バス株式会社 白市・空港	ネオポリス北～白市駅・河内インター～ 広島空港		A	A	(白市～広島空港線) コロナ禍の影響で利用者数が特に大きく減少しており、一部減便を行っている。ようやく回復傾向となったことを受け、広島国際空港、広島県空港振興課と連携し、PRを行い利用者確保に努めたい。必要に応じて増便も計画する。	
	芸陽バス株式会社 白市・空港	ネオポリス北～白市駅・元兼～広島空 港		A	A	(豊栄西条線) 沿線小学校の統廃合、高校の募集定員減少など厳しい状況が続く中で、コロナ禍前の便数を維持している。沿線自治会がバス路線についての協議を重ねており、存続のため地元と連携し利用状況改善に向けて取りくむ。	
	芸陽バス株式会社 白市・空港	白市駅～河内インター～広島空港		A	A		
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～上戸野～西条駅前		A	A	利用状況が改善せず横ばいで推移している。地元自治体と連携し、早朝、土日祝など利用の少ない時間の必要性を検討を行う。	
	芸陽バス株式会社 豊栄・西条	豊栄～高美が丘・西高屋駅～西条 駅前		A	A		
	芸陽バス株式会社 安芸南	海田市駅～矢野大浜 フジグラン安芸・矢野大浜～海田市駅		A	A	(竹原広島線) コロナ禍の影響で観光需要が冷え込んでいる影響を受け、利用者数が特に大きく落ち込んでいる。県の利用促進事業などの制度を活用し、利用状況が改善したが引き続き厳しい。観光客誘致の補助制度等も活用しテコ入れ策を行う。	
	芸陽バス株式会社 竹原広島	フェリー前～竹原駅・河内IC～広島 バスセンター		A	A		
芸陽バス株式会社 竹原広島	忠海駅前～竹原駅・河内IC～広島 バスセンター	A	A				

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県生活交通対策協議会	株式会社中国バス 福山・市系統	福山駅前～中国中央病院～市出張所	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを2022年4月行った。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったため、経常損失額は2百万円ほど減少した	A	A	引き続き沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと運行経費の削減を図り収支改善に努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、沿線自治体と連携し、継続して利用実態に沿ったダイヤ改正により利便性の向上を図るとともに、運行経費の削減等による収支改善により路線維持に繋がることを期待する。
	株式会社中国バス 福山・府中系統	目崎車庫～福山駅前	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを2022年4月行った。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったため、経常損失額は8百万円ほど減少した	A	A		
	株式会社中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～甲山営業所	経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったため、経常損失額は1百万円ほど減少した	A	A		
	株式会社中国バス 尾道・甲山系統	尾道駅前～長江口・バイパス～甲山営業所	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを2021年10月行った。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったものの、経常損失は1.8百万円ほど増加した	A	A		
	株式会社中国バス 尾道・市系統	尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったものの、経常損失は1.8百万円ほど増加した	A	A		
	株式会社中国バス 甲山・三原系統	甲山営業所～林崎谷～三原駅前	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを2021年10月行った。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行った。	A	A		
	株式会社中国バス 三原・広島空港系統	三原駅前～三原棧橋～広島空港	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しと広島空港運航時刻にあわせたダイヤ改正を実施した。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったため、経常損失額は10百万円ほど改善した	A	A		
	株式会社中国バス 油木・福山系統	油木～道上～福山駅前	沿線自治体と連携し、実態に沿った運行計画の見直しを2021年10月行った。経費削減に取り組み、また、2022年4月には収支改善のため定期券の割引率の見直しを行ったが、経常損失は21百万円ほど増加した。	A	A		

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	靱鉄道株式会社 洗谷常石	福山駅前～洗谷～常石	新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している現状を関係自治体と共有し、車内の密を回避するため減便せずに運行し、路線を維持した。幹線・支線のフィーダ化については来年度の試験運行を福山市と検討中。	B	B	フィーダ化による路線再編	各系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、利用ニーズの把握に努め、関係自治体と連携し、ニーズに応じたダイヤ改正等により利便性の向上に繋がることを期待する。	
	靱鉄道株式会社 瀬戸千年	福山駅前～瀬戸～千年橋		B	B			
	靱鉄道株式会社 小立千年	福山駅前～小立団地～千年橋		B	B			
	靱鉄道株式会社 瀬戸常石	福山駅前～瀬戸～常石		B	B			
	靱鉄道株式会社 阿伏兎	福山駅前～瀬戸～阿伏兎		B	B			
	靱鉄道株式会社 福山内海	福山駅前～瀬戸～内海農協		B	B			
	備北交通株式会社 三城線	庄原駅～ジョイフル・上四十貫～三次駅前	C型バス停標識3本、B型バス停標識8本、バス停名32枚を更新した。	A	A	三次駅前各乗り場のデジタルサイネージの検討	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、SNSやデジタルサイネージを活用した利用者への分かりやすい情報提供により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	本四バス開発株式会社 瀬戸田～因島線	瀬戸田港～内海造船・生口橋～土生港前	瀬戸田町へ観光誘致を行うため、グリーンスローモビリティの有償運行を行い、路線バスへの利用促進を図った。	A	A	地域住民への広報活動による利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、地域住民の利用に加えて、観光での利用喚起を図ることにより、利用促進に繋がることを期待する。	
	江田島バス株式会社 4主系統	小用～江田島市役所前～大柿高校前	・バスピーの利用データ等を分析・活用し、利用実態等に沿ったダイヤの見直しについて、江田島市とも十分に協議しながら検討を重ねた結果、令和4年12月1日から、路線バス網の再編及びこれに伴うダイヤ改正を実施することとした。	A	A	・利用実態等に沿った路線バス網の再編及びこれに伴うダイヤ改正を実施し、持続可能なバス路線網の構築を目指す。 ・引き続き、バス接近情報を反映した経路検索と全路線乗降可能な乗車券の相乗効果により、増客増収を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、ICカード利用データを活用したダイヤの見直しやバス接近情報を反映した経路検索、特殊乗車券類の企画・販売により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	江田島バス株式会社 14主系統	小用～大君～深江	・バスロケーションシステムのデータにより整備した「GTFSリアルタイム」情報を公開し、Google マップ等のバス接近情報を反映した経路検索を可能にするとともに、全路線を24時間自由に乗降可能な乗車券(デジタルチケット)を発売し、増客増収を図っている。	A	A			
さんようバス株式会社 1系統	太田～明石港・大串～太田	現在島民のバス利用は、買い物、病院、港までの移動手段として利用が定着してきている。(高齢者の地域サロンで、バス利用の啓発活動を行っている) その他中学生の通学バスとして路線バスを活用して、利用はあるが、コロナの影響で利用者数は減少している。	B	B	令和4年11月～12月の1ヶ月間(100円)でオンデマンド型コミュニティバスの実証実験を行い、その期間は路線バスも従来のコミュニティバスも利用者がオンデマンド型コミュニティバスに流れていて、今後オンデマンド型コミュニティバスでの運行形態で実施された場合は、路線バスとの共存について模索する必要がある。	系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、関係者と協議の上、他モードと連携することで利便性の向上を図るとともに、啓発活動等により利用促進に繋がることを期待する。		
おのみちバス株式会社 如水館線	尾道駅前～長江口～如水館前	6月上旬に実態調査を行い、利用状況の確認を行った。	A	B	実態調査などで利用者のニーズを把握に努め、利便性の高い運行となるようにする。また、自社の企画券からの利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。  今後も、利用者のニーズを的確に把握し、利便性の向上を図るとともに、企画券の設定・見直しにより利用促進に繋がることを期待する。		

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
広島県生活交通対策協議会	瀬戸内産交株式会社 1系統	宮農センター～中国労災病院	関係市町・観光施設と連携し観光施設利用者のバスの利用が増えています。	B	A	バスの利用促進につながる様に関係各所と連携し利便性向上につなげる	各系統は、概ね計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、関係市町・観光施設と連携し、利便性向上、利用促進に取り組むことを期待する。
	瀬戸内産交株式会社 2系統	沖友天満宮～中国労災病院		B	A		
	中国 ジェイアールバス株式会社 C1	西条駅～広～呉駅	新型コロナウイルスの影響により利用者数が低迷しているが、減便せずに運行し、路線を維持した。関係自治体とも路線維持や利便性向上に向けて現状等の協議を行った。	A	A	コロナの影響を考慮しつつ、関係自治体と結節点整備を見据えた路線再編等の協議を行い、生活交通を維持していく。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、関係自治体等と協議の上、関係自治体HP等における地域行事等へのアクセス情報の広報や路線再編等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。
	中国 ジェイアールバス株式会社 C2	西条駅～交叉点～呉駅		A	A		
	中国 ジェイアールバス株式会社 C109	賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉駅		A	A		
	中国 ジェイアールバス株式会社 C161	西条駅～郷田～広島国際大学		A	A		
	中国 ジェイアールバス株式会社 C164	西条駅～庚～広島国際大学		A	A		
	株式会社井笠バスカンパニー 井原・福山系統	井原～御領～福山		A	A		
	株式会社井笠バスカンパニー 篠坂・福山系統	篠坂～青葉台～福山	A	A			
	株式会社井笠バスカンパニー 中国中央病院系統	福山～市民病院～中国中央病院	利用者からの要望を聞くために、協議会と連携して車内にアンケートはがきを設置した。結果を分析してダイヤ改善に生かしている	A	A	自治体・市民病院とのPASPYとの連携を検討し、更なる利便性、および効率等向上に向けた再編を検討。実績データ等に基づく遅延対策、他モード等との連携、および利用実態・ご要望等に沿ったダイヤ編成。	今後も、利用ニーズの把握に努め、協議会と連携し、ニーズに応じたダイヤ改正等により利便性の向上に繋がることを期待する。
	株式会社ささき観光 おおのハートバス(横断)	サンランド車庫～前空駅～広電阿品駅	R4.4月に一部のルート・ダイヤの見直しを実施し、ホームページや広報などで周知を行った。GTFSデータの整備が完了したため、GoogleMapでの経路検索が可能となり利便性が向上した。	A	A	今後も引き続きコロナ対策を継続しながら、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係者と協働で検討する。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。
	石見交通株式会社 広益線	石見交通本社前～(清流ライン高津川号)～広島新幹線口	利用者の減少が続いており、正確な利用状況を把握できない、またお客様からの要望もなくダイヤ改正は行わず現状維持とした。	A	A	・体験乗車会等による利用促進 ・観光需要等利用促進に向けPRに努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。 今後も、割引制度や企画乗車券のPR、体験乗車会等により利用促進に繋がることを期待する。
	廿日市交通株式会社 廿日市さくら(佐方)	廿日市市役所前駅～廿日市市役所前駅	R3.10.1に運行事業者を広島電鉄(株)から廿日市交通(株)に移管した。	A	A	今後も引き続きコロナ対策を継続しながら、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画の策定過程において、系統の適切な計画について関係者と協働で検討する。	系統は、計画どおり適切に運行されており評価できる。 今後も、自治体と連携して、広報・ダイヤの見直し等により利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	広島電鉄株式会社 湯来	既存 ノンステップバス2両	・引き続き関係自治体と検討する。	A	A	・国の設定する導入目標に向けノンステップバスの代替を進める。	概ね計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。  今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	
	広島電鉄株式会社 三段峡	既存 都市間連絡用バス1両	—	A	A			
	芸陽バス株式会社 瀬野・広島、東雲、畑賀、阿戸、安芸南	既存 ノンステップ5両	収支率悪化等の影響もあり、車両代替を行うペースを見直さざるを得ない状況となっており、今後の車両更新計画についても修正を行っている。	A	C	2020年度導入車両より、シート生地に防菌加工されたシートを採用し始めている。これ以外の車両についても、光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。		
	芸陽バス株式会社 西条・広島、空港、白市・空港	既存 ノンステップ6両		A	C			
	芸陽バス株式会社 西条・竹原、竹原・三原、三原・本郷	新規 ノンステップ2両 既存 ノンステップ6両		A	C	高速バス車両を含めた各車に光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。		
	芸陽バス株式会社 西条・豊栄	新規 ノンステップ1両 既存 ノンステップ1両		A	C	貸切バス車両を含めた各車に光触媒施工等を行い、感染症拡大対策を行った車両での運行を継続する。		
	株式会社中国バス 福山～目崎車庫	既存ノンステップ4両		A	A	利用実態に応じた運行回数の設定に伴う車両の減車に合わせて全体的な更新を図る。		
	株式会社中国バス 甲山～三原	既存ノンステップ2両	A	A				
	株式会社中国バス 三原～広島空港	既存ノンステップ2両	A	A				
	株式会社中国バス 福山～目崎車庫	既存ノンステップ4両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	株式会社中国バス 甲山～三原	既存ノンステップ2両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	株式会社中国バス 三原～広島空港	既存ノンステップ2両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A			
	鞆鉄道株式会社 新川線	既存 ノンステップ6両 ワンステップ1両	新車の導入はできなかったが、老朽化した車両5両を廃車した	A	A	必要車両の見直しと平均車齢の年引き下げ		
	備北交通株式会社 三城線	既存：ノンステップ3両 新規：0両	当該系統への車両導入事業は完了	A	A	当該系統への車両導入事業は完了		
	江田島バス株式会社 4主系統(小用～大柿高校前)	既存 ノンステップ1両	令和3年11月にノンステップバス1両を導入し、老朽化したワンステップ車両1両を減車したことにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。	A	A	引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。		
江田島バス株式会社 14主系統(小用～深江)	既存 ノンステップ1両	令和3年11月にノンステップバス1両を導入し、老朽化したワンステップ車両1両を減車したことにより、ノンステップバスの運行率が高まり、利用者の利便性が向上するとともに、利用促進に寄与している。	A	A	引き続き、江田島市と連携しながら計画的にノンステップバスを導入し、利用促進を図る。			
さんようバス株式会社 1系統	既存ノンステップ2両 既存ワンステップ1両(予備)	現在のところ、ワンステップバスをノンステップバスに変更できる経済状況にない。時期は未定であるが、いずれ全車両をノンステップに移行する必要がある。	B	B	島内は高齢化が進んでいて、コミュニティバスとの相互利用を推進することで利用の弁を確保したい、その為にも67%のノンステップバス割合を、100%ノンステップバスにしていく必要がある。			
中国ジェイアールバス株式会社 西条～広～呉 西条～交叉点～呉 賀茂医療センター口～庚・交叉点～呉 西条～郷田～広島国際大学 西条～庚～広島国際大学	新規 ノンステップ3両 既存 ノンステップ9両	補助制度を活用し低床車両の導入推進を図った。	A	A	補助制度を活用した低床車両の導入を推進する。			
株式会社井笠バスカンパニー 井原～福山・中国中央病院	既存 ノンステップ2両	当該系統の車両更新予定分を他系統分に振り替え、車両更新を見送った。	A	A	今後も計画的に車両の更新を行っていく			
石見交通株式会社 広益線	既存 都市間連絡	既存車両については、適切に運用されている	A	A	車両の状態を注視し、更新計画を策定し、安全・安心な運行に努める			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月20日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～山崎橋	事業者、県及び市町村が行っている 利用促進等の取り組みを継続し た。	A	B	○新型コロナ対策を施した公共交通の 安全性や公共交通の重要性を重点的 に周知することで可能な限りバス利用 者の減少を抑制していく。 ○また、ウイズコロナ・アフターコロナ 時代の利用者需要の変化を踏まえた 地域の事情・ニーズに応じた地域公共 交通のあり方を検討していく。	各系統は、計画どおり運行されており評 価できる。  今後も、関係自治体等と連携した割引制 度や企画乗車券の設定、バスターミナル への案内表示の設置等により、利便性向 上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日ノ丸自動車株式会社 中河原系統	鳥取駅～市内～山崎橋		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 智頭系統	鳥取駅～智頭駅前		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 用瀬系統	鳥取駅～用瀬		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 白兔海岸系統	鳥取駅～鹿野営業所		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 上井・三朝系統	倉吉駅～三朝車庫		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 赤碕系統	倉吉駅～赤碕駅		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～境港駅		A	C			
	日ノ丸自動車株式会社 境系統	米子駅～米子鬼太郎空 港		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～日野病院		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 根雨系統	米子駅～谷川		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 皆生日吉津循環線	米子駅～イオン東館～米 子駅		A	B			
	日ノ丸自動車株式会社 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～大袋～ 下鴨部日ノ丸車庫前		A	A			
	日ノ丸自動車株式会社 法勝寺線	祇園町日ノ丸前～峰～下 鴨部日ノ丸車庫前		A	C			

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日本交通株式会社 岩井系統	鳥取駅～蕪島	事業者、県及び市町村が行っている利用促進等の取り組みを継続した。	A	A	○新型コロナ対策を施した公共交通の安全性や公共交通の重要性を重点的に周知することで可能な限りバス利用者の減少を抑制していく。 ○また、ウイズコロナ・アフターコロナ時代の利用者需要の変化を踏まえた地域の事情・ニーズに応じた地域公共交通のあり方を検討していく。	各系統は、計画どおり運行されており評価できる。  今後も、関係自治体等と連携した割引制度や企画乗車券の設定、バスターミナルへの案内表示の設置等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	日本交通株式会社 岩井系統	鳥取駅～長谷橋		A	A			
	日本交通株式会社 八頭若桜系統	鳥取駅～若桜車庫		A	B			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～関金BC		A	A			
	日本交通株式会社 関金系統	倉吉BC～明高		A	A			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～石脇車庫		A	A			
	日本交通株式会社 橋津系統	倉吉BC～小浜		A	A			
	日本交通株式会社 松崎系統	西倉吉～北方入口		A	C			
	日本交通株式会社 北条系統	倉吉BC～由良駅		A	A			
	日本交通株式会社 皆生日吉津循環系統	米子駅～イオン東館～米子駅		A	A			
鳥取県生活交通確保に係る地域協議会	日ノ丸自動車株式会社 中河原、智頭、用瀬、白兔海岸、上井/三朝、赤碕、境、根雨、皆生日吉津循環、法勝寺	ノンステップバス 6台購入	引き続き計画的にバリアフリー対応の車両へ更新した。	A	A	○目標は長期的なものとして適切であると判断。 ○一度に全ての車両を更新することはできないため、引き続きバリアフリー対応の車両へ更新していく。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。  今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月20日

中国運輸局

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	石見交通株式会社	石見交通本社前～広島 新幹線口(清流ライン 高 津川号)	イベント等に参加し、体験乗車、免 許返納割引制度のPR等による利 用促進に努める計画であったが、 新型コロナウイルス感染症の影響 により実施出来なかった。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイ ヤ改正等に努め利用促進を行う。 イベント等に参加しPR活動を続ける。	各系統は、計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。 今後も、実態に合った運行時間の設定に より、利便性向上を図るとともに、各種イ ベントを通じて利用促進に繋がることを期 待する。	
	石見交通株式会社	医光寺前～江崎港(須佐 駅前)		A	B			
	石見交通株式会社	医光寺前～津和野温泉		A	B			
	石見交通株式会社	医光寺前～匹見上		A	B			
	石見交通株式会社	益田駅前～二川		A	A			
	石見交通株式会社	石見交通本社前～浜田 駅前		A	B			
	石見交通株式会社	浜田駅前～弥栄支所		A	A			
	石見交通株式会社	周布～江津駅前 (有福温泉・済生会病院)		A	A			
	石見交通株式会社	周布～江津駅前 (西波子・済生会病院)		A	A			
	石見交通株式会社	済生会病院(江津高校前) ～石見川本		A	B			
石見交通株式会社	大田市立病院前～済生 会病院	A	A					

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス株式会社	一畑バス本社～大東駅	公共交通PRイベントを実施し、バス利用の啓発に努めた。 ・バスまつりを開催 ・公民館、自治会、小学校等で乗り方教室を実施	A	B	引き続き各種イベントを開催(他者の開催するイベントに参加)し、バスの利用啓発に努める	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、実態に合った運行時間の設定により、利便性向上を図るとともに、各種イベントを通じて利用促進に繋がることを期待する。	
	一畑バス株式会社	一畑バス本社～マリンプラザ前		A	A			
	一畑バス株式会社	一畑バス本社～御津		A	B			
	一畑バス株式会社	松江しんじ湖温泉～玉造温泉		A	A			
	一畑バス株式会社	上塩治車庫～出雲須佐		A	B			
	一畑バス株式会社	上塩治車庫～大社バスターミナル		A	A			
島根県生活交通 確保対策協議会	一畑バス株式会社	計画に基づき車両2両を購入	計画どおりノンステップバス2両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。	計画どおりに車両を導入、使用しており評価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する目標は、令和7年度末までにノンステップバス割合が80%とされているところである。	
	石見交通株式会社	計画に基づき車両3両を購入	計画どおりノンステップバス3両の導入を実施した。	A	A	引き続き計画に沿ってノンステップバスの導入を進める。	今後も、ノンステップバスを中心とした車両の導入が推進されることを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月20日

中国運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	株式会社井笠バスカン パニー	笠岡～矢掛	他モードとの乗継を確保し、運行 実態を反映した時分設定の見直 し、定時制の確保等、利便性の向 上による利用促進に取り組んだ。	A	B	他モードとの乗継を確保するとともに、 運行実態を反映した時分設定に見直 し、定時制を確保することにより、利便 性を高める。効率的なダイヤ編成の実 施	各系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。  今後も、利用ニーズの把握に努め、協議 会と連携し、ニーズに応じたダイヤ改正等 により利便性の向上に繋がることを期待す る。	
	株式会社井笠バスカン パニー	井原～福山	引き続き井笠・福山バス路線連携 協議会と連携して利用促進に取り 組んだ。	A	B	ICカード対応車両を増車し、利用者の 利便性向上を図るとともに、井笠・福山 バス路線連携協議会と連携して利用 促進に取り組む。効率的なダイヤ編成 の実施		
	株式会社井笠バスカン パニー	笠岡～井原	引き続き他モードとの乗継を確保 し、井笠・福山バス路線連携協議 会と連携して利用促進に取り組ん だ。	A	B	他モードとの乗継を確保し、井笠・福山 バス路線連携協議会と連携して利用 促進に取り組む。効率的なダイヤ編成 の実施		
	株式会社井笠バスカン パニー	篠坂～福山	引き続き井笠・福山バス路線連携 協議会と連携して利用促進に取り 組んだ。	A	B	利用者からの要望及び井笠・福山バス 路線連携協議会と連携して利用促進 に取り組む。効率的なダイヤ編成の実 施		
	下津井電鉄株式会社	A-2 岡山線 天満屋～JR児島駅前	沿線上学校の始終業時間に合せ た運行ダイヤの設定を令和4年4 月に実施し、バスロケデータの活 用で適正な運行ダイヤ組を実施し た。	A	A	沿線上の学校への通学利用促進のた め、中・高校への訪問営業。通学定期 利用への啓蒙チラシの作成・配布。始 終業時間をヒアリングしダイヤ改正の 実施。	各系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。  今後も、ホームページ上への沿線施設の 掲載、バスロケデータやヒアリング内容 を活用したダイヤ改正等により、利便性の向 上、利用促進に繋がることを期待する。	
	下津井電鉄株式会社	D-19 茶屋町線 倉敷駅～下電バス興除 営業所		A	A			
	中鉄バス株式会社	天満屋BC～リハビリセン ター前	関係自治体と連携して沿線施設の ニーズの把握に努め、ダイヤ改正 を実施することとしていたが、コロ ナ禍からの回復状況を把握するた め、今回は実施を見送った。	A	B	関係自治体と連携し、広報誌を活用す る等して利用促進を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。  今後も、関係自治体と連携し、広報誌を活 用する等により利用促進に繋がることを期 待する。	

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	中鉄北部バス株式会社	津山～行方	奈義町現代美術館入場券とのセット乗車券を設定する計画であったが、新型コロナ感染拡大の影響により実施は見送った。	A	B	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、沿線の観光情報等を掲載した時刻表の配布により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	中鉄北部バス株式会社	岡山～勝山	沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図った。	A	B	岡山駅周辺や沿線の観光情報等を掲載した時刻表を作成して関係自治体、観光関連団体及び観光施設等へ配布し、利用促進を図る。		
	備北バス株式会社	高梁駅～塩坪～砦部	関係自治体と連携し、高校生を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生及び中学生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・真庭市と連携し利用促進に取り組み収支率55%台を目指していきたい。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、自治体と連携した時刻表の配布、個別訪問等による新規利用者の掘り起こし等により、利便性向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	備北バス株式会社	高梁駅～リハビリセンター～吉川	昨年度に引き続き高校生の通学補助を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者の多くは、高校生の通学利用であり、少子高齢化による利用者の減少傾向が進むなか、高梁市・吉備中央町と連携し利用促進に取り組み収支率51%台を目指していきたい。		
	備北バス株式会社	地頭～古町～岡山	昨年度に引き続き往復利用割引運賃制度及び愛カードの広報を行い利用促進を行った。	A	B	当該路線は高梁市より岡山市への通院及び買い物を中心とした路線であり、今後も高梁市・総社市及び岡山市と連携し利用促進に取り組み収支率47%台をめざしていきたい。		
	備北バス株式会社	地頭～古町～高梁駅	昨年度に引き続き高校生の通学補助及び愛カードの広報を中心とした利用促進を行った。	A	B	当該路線の利用者は、高校生の通学と病院への通院及び買い物への利用が多く、今後も高梁市と連携し利用促進に取り組み収支率45%台を目指していきたい。		

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
岡山県生活交通 対策地域協議会	両備ホールディングス 株式会社	西大寺～邑久～牛窓(牛 窓北線)	・利用実態に応じ、邑久～牛窓間 の輸送に注力すべく運行形態の見 直しを実施した ・JR西日本が発行するデジタルフ リーパスに参画し、牛窓地区への 誘客の取り組みを行った	A	B	お客様の需要に応じ、運行形態の見 直しを実施する。	各系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。  今後も、利用実態に合わせたダイヤ改正、 学校等施設訪問でのPR、バスを利用する こと自体を目的とした企画等により、利便 性の向上、利用促進に繋がることを期待す る。		
	両備ホールディングス 株式会社	西大寺～西大寺駅・神崎 ～牛窓(牛窓南線)	・利用実態に合わせて運行便数の 設定の見直しを行った ・JR西日本が発行するデジタルフ リーパスに参画し、牛窓地区への 誘客の取り組みを行った	A	A				
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～銚立(銚立線)	・高校の入学者説明会において定期 券、バス通学の案内を実施 ・岡山市内にて、岡電バスのみが 停車している停留所について、追 加停車を協議	A	B			定期運賃収入の増収策に取り組む。	
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～宇野駅前(上山 坂線)		A	B				
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～渋川三丁目(荘内渋 川線)	・沿線高校の入学者説明会におい て資料配布や定期券事前申込受 付を実施 ・利用促進の企画として、アート作 品を車内に展示した「アートバス」 を運行	A	B				
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田～深山 公園入口(深山公園線)		A	A				
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・田井～ 玉野市役所前(玉野市役 所線)		A	B				
	両備ホールディングス 株式会社	岡山駅～当新田・荘内支 所～宇野駅前(荘内宇野 駅線)		A	A				

## 評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡山県生活交通 対策地域協議会	琴参バス株式会社	瀬戸大橋線 坂出駅前～JR児島駅	① R3.10.1にダイヤ改正をおこない 櫃石へのアクセスの向上及び岩黒 島島内のバス停名の変更をおこな い利便性向上を図った。  ②坂出市と連携し地域公共交通 マップを作成、バス車内、観光協 会の窓口や公共施設等へ配布す ることで幅広くPRをおこなった。	A	B	マイカーでは行けない島への路線バス 利用をSNS等にて幅広くPRし、観光客 の利用拡大に繋げる。  バスロケーションシステムの導入を検 討し位置情報や混雑情報を利用者へ 提供することで安心したバス利用に繋 がるよう利便性向上を図る。	系統は、計画どおり適切に運行されてお り、評価できる。  今後も、関係自治体と連携し、交通マップ の配布等により利用促進に繋がることを期 待するとともに、バスロケーションシステム の導入により利便性の向上に繋がることを 期待する。	
	株式会社井笠バスカン パニー	ノンステップバス等10両 継続、 上記4路線で運行	計画通り車両の代替を進めた。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めてい く。	計画どおりに車両を導入、使用しており評 価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する目 標は、令和7年度末までにノンステップバ ス割合が80%とされているところである。  今後も、ノンステップバスを中心とした車両 の導入が推進されることを期待する。	
	中鉄北部バス株式会社	都市間連絡用バス1両導 入 岡山～勝山線で運行	本年度は車両代替を実施しなかつ た。	A	A	今後も計画的に車両代替を進めてい く。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和5年2月20日  
中国運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	防長交通株式会社	柳井駅前～快)～徳山駅前	R4.3.12に列車との接続便についてダイヤ改正を実施した。関係自治体と連携して利用し易いダイヤ改正を実施した。  各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券等PRに取り組み利用促進を図った。  利用者の利便性を向上させるため、バスロケーションシステム活用について周知を図った。	A	B	引き続き、バス利用促進に繋がるよう、ダイヤ改正等を行い、関係市町と連携して利用し易いバスを目指していく。 また、各イベントへの参加、バス乗り方教室の開催、学生フリー乗車券、小児運賃一律50円キャンペーン等PRを継続的に努め、利用促進を図る。  バスロケーションシステムを幅広く周知し、新規利用者の獲得に努める。  R5.3に導入予定の交通系ICカードシステムについて、利用者へのPRなどを積極的に行い、利用促進に努める。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、より利用者が利用しやすいダイヤ改正、バスロケーションシステムの活用、小児運賃一律50円キャンペーン等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	防長交通株式会社	防府駅前～新南陽駅～徳山駅前		A	B			
	防長交通株式会社	柳井駅前～イオン・平生～上関		A	B			
	防長交通株式会社	大島駅前～周防久賀～町立橋医院前		A	C			
	防長交通株式会社	大島駅前～大島商船・大島庁舎前・沖浦～町立橋医院前		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの		A	B			
	防長交通株式会社	徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内		A	B			
	防長交通株式会社	堀～中山～防府駅前		A	A			
	防長交通株式会社	堀～和字～防府駅前		A	A			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・新山口駅・長浜～秋穂荘		A	B			
	防長交通株式会社	県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手～新山口駅		A	B			
	防長交通株式会社	新山口駅～大田～東萩駅前		A	A			
	防長交通株式会社	新山口駅～十文字～秋芳洞		A	C			
防長交通株式会社	萩商工高校前～萩センター・東萩駅・越ヶ浜～奈古駅前	A	B					

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況			⑥事業の今後の改善点
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	サンデン交通株式会社	下関駅～唐戸～川棚温泉	前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受けており、大幅な減収となっております。各種イベント中止、クルーズ船入港中止、学校関係の行事中止などあり、貸切バスにおいてはほぼ収入がない状況となりました。  R02.10.1にダイヤ改正を実施、運行系統の整理、運番削減等を行い効率的な運行に努めた。  R03.03.06よりICカード「ニモカ」導入、併せて、高齢者、学生以外の人でも利用できる「一般フリー定期」を新設、利便性の向上と収入増に努める。  また、引き続き、新入生お試し券(100円券)の配布による新入生のバス利用促進を図った。 その他、小児運賃一律50円キャンペーン、高齢者向け乗り放題バスへの免許返納者向け割引の設定、小学生へのバス乗り方教室の実施、「長門市内1日フリーパス」(スマートフォン決済)の導入、など利用者に便利な割引切符の販売等により、バス利用促進をPRした。	A	B	引き続きICカード「ニモカ」の周知拡大を図り、利便性の向上を目指すとともに経費削減に努める。 併せて令和3年6月以降バスカード廃止。令和8年5月までバスカードの払い戻しを実施する。  事業改善のため、国庫補助系統「下関駅～小月駅～宇部中央」の廃止、「下関駅～小月駅～おのだサンパーク」を新設、「下関駅～小月駅～小野田駅」とみなし系統として一本化する。そのほか状況に応じて運行系統の見直しを行う。  引き続きバス利用促進につながるよう、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供を進めていく。 また、関係市と連携してより利用しやすいバス路線を目指すと共に、学生需要拡大や、バス乗り方教室の開催、スマートフォン決済の推進により、利用者の拡大に力を入れていく。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、標準的なバス情報フォーマットによるデータ提供、アプリを利用した企画乗車券等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	サンデン交通株式会社	下関駅～豊洋台3丁目～川棚温泉		A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～宇部中央		A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～小野田駅		A	C			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～大泊		A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～下大野～豊田町西市		A	B			
	サンデン交通株式会社	下関駅～小月駅～美祢駅		A	A			
	船木鉄道株式会社	船木～本山岬 船木～サンパーク～本山岬 船木～労災病院～本山岬 船木～労災病院～サンパーク～船木	山口県の実証事業としてオープンデータを活用した安価なバスロケーションシステムの運用を開始した。  R3.10.1にダイヤ改正を実施し電車との接続の利便性をよくし、効率的な運行に努めた。 バス教室を実施し利用の促進に努めた。 その他時刻冊子を配布しPRに努めた。	A	B	バスの利用促進につながるよう、時刻表の改善や乗り方教室の実施等を通じたバスのPRに努めるとともに、バスロケーションシステムを活用した利便性の向上を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されており、評価できる。  今後も、ダイヤ改正やバスロケーションシステムの活用、乗り方教室の実施等により、利便性の向上、利用促進に繋がることを期待する。	
	船木鉄道株式会社	船木～宇部市役所	A	B				
	船木鉄道株式会社	厚狭駅～宇部中央 厚狭駅～サンパーク～宇部中央 厚狭駅～労災病院～宇部中央 厚狭駅～労災病院～サンパーク～宇部中央	A	A				
船木鉄道株式会社	美祢市立病院～秋吉～美東病院～大田中央 美祢駅～秋吉～美東病院～大田中央 美祢駅～秋吉～大田中央	A	B					
船木鉄道株式会社	美祢駅～秋吉 美祢駅～秋吉～秋芳洞	A	B					



評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	石見交通株式会社	広益線 石見交通本社前～(清流ライン 高津川号)～広島新幹線口	イベント等に参加し、体験乗車、免 許返納割引制度のPR等による利 用促進に努める計画であったが、 新型コロナウイルス感染症の影響 により実施出来なかった。	A	B	引き続きお客様ニーズを把握し、ダイ ヤ改正等に努め利用促進を行うととも に、イベント等に参加しPR活動を続け る。	各系統は、計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。  今後も、実態に合った運行時間の設定に より、利便性向上を図るとともに、各種イ ベントを通じて利用促進に繋がることを期 待する。	
	石見交通株式会社	小浜江崎線 医光寺～日赤・温泉～江崎港 (須佐駅前)		A	B			
	宇部市交通局	新山口線(特急) 宇部新川駅～山口宇部道路～ 新山口駅	路線維持のため、バス停車表の 停留所掲示や時刻冊子の配布な ど、PRに取り組んだ。 主に小学生に乗り方教室を実施 し、生活交通路線の利用促進に取 り組んだ。 バスロケーションシステムのサイ ネージを宇部市新庁舎に増設し、 情報提供の充実に努めた。 ICカード導入の事前周知として 「共通バス時刻表」(38,000部) に掲載するとともに、運用開始時 には当該乗車券の利便性をリーフ レットや商業施設等でPRすること で利用促進に取り組んだ。	A	A	引き続き、バス利用促進につながる よう、時刻表の改善や各種イベントへ の参加、乗り方教室の実施等により、 PRに努める。 バスロケーションシステムのサイネ ージ増設により、分かりやすい運行情報 の周知に努める。 ICカードシステムの活用により利用 促進につなげる。 やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶら やま」を活用し、デジタルチケットを実証 導入する。	各系統は、計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。  今後も、時刻表の配布や乗り方教室の実 施、ICカードの活用等により、利便性の 向上、利用促進に繋がることを期待す る。	
	宇部市交通局	新山口線(普通) 宇部新川駅～サンパークあじ す・東岐波商業団地前～新山口 駅新幹線口		A	A			
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村～サンパーク あじす		A	A			
	宇部市交通局	阿知須線 宇部新川駅～今村・ミスターマッ クス宇部店～サンパークあじす		A	A			
	宇部市交通局	小野田線 小野田営業所～大学病院前～ 常盤町二丁目		A	B			
	宇部市交通局	西ヶ丘日赤線 西ヶ丘～ゆめタウン宇部～日赤 前		A	B			
	中国ジェイアールバス株式会社	D77 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・ 湯田温泉通～中尾口		A	B			
	中国ジェイアールバス株式会社	D79 秋吉～洞・バイパス・大田中央・ 県庁～山口駅	A	C	引き続き、乗り継ぎ利便の向上、適正 な所要時分となるよう、ダイヤ改正を 実施する。バス乗り方教室やイベント への参加を通じて地域と連携し、生活 交通路線の維持を行う。利用者の利 便性向上を図るため、バスロケーショ ンシステム活用について周知を図る。	各系統は、計画どおり適切に運行されて おり、評価できる。  今後も、ダイヤ改正やバスロケーションシ ステムの活用、バス乗り方教室等によ り、利便性の向上、利用促進に繋がるこ とを期待する。		
	中国ジェイアールバス株式会社	D109 防府駅～ゆめタウン山口・県庁・ 湯田温泉通～山口大学	A	A				
	中国ジェイアールバス株式会社	D127 山口駅～県庁・野田・明倫セン ター～東萩駅	A	B				

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	防長交通株式会社	ノンステップバス 31両導入 平成29年度導入分=6両 平成30年度導入分=6両 令和元年度導入分=4両 令和2年度導入分=5両 令和3年度導入分=5両 令和4年度導入分=5両  ・柳井駅前～快)～徳山駅前 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～イオン・平生～上関 ・大島駅～周防久賀～町立橋医院 前 ・大島駅～大島商船・大島庁舎前・ 沖浦～町立橋医院前 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・ 夢ヶ丘団地～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～ コアプラザかの ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯 野～柚木河内 ・堀～中山～防府駅前 ・堀～和字～防府駅前 ・県庁前～西京橋・新山口駅・長浜 ～秋穂荘 ・県庁前～西京橋・リハビリ・権現堂 橋・山手～新山口駅 ・新山口駅～大田～東萩駅前 ・新山口駅～十文字～秋芳洞 ・萩商工高校前～萩センター・東萩 駅・越ヶ浜～奈古駅前	計画通りノンステップ型車両の導 入が図れるよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画通りノンステップ バスの導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する 目標は、令和7年度末までにノンステップ バス割合が80%とされているところであ る。  今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。
	サンデン交通株式会社	計10両(ノンステップバス10両) 導入 平成30年度導入分=2両 平成31年度導入分=2両 令和02年度導入分=2両 令和03年度導入分=2両 平成04年度導入分=2両 国道線、西市線 美祢線、北浦線 仙崎線	計画通り低床車両の導入が図れ るよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステッ プバスの導入を進めていく。	
	船木鉄道株式会社	ノンステップバス4両導入 平成30年度導入分=1両 令和元年度導入分=1両 令和2年度導入分=1両 令和4年度導入分=1両 本山線 宇部線 厚狭線	計画通り低床車両の導入が図れ るよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステッ プバスの導入を進めていく。	

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	石見交通株式会社	平成30年度導入数=2両 令和元年度導入数=2両	新たな車両導入は行っていない。	A	A	計画的な導入を進めていく。	計画どおりに車両を導入、使用しており 評価できる。  乗合バス車両のバリアフリー化に関する 目標は、令和7年度末までにノンステップ バス割合が80%とされているところであ る。  今後も、ノンステップバスを中心とした車 両の導入が推進されることを期待する。	
	宇部市交通局	ノンステップバス導入 平成30年度導入数=2両 令和元年度導入数=1両 令和2年度導入数=2両 令和3年度導入数=2両 令和4年度導入数=3両 新山口線 阿知須線 小野田線	計画通り低床車両の導入が図れ るよう努めた。	A	A	今後も引き続き、計画どおりノンステッ プバスの導入を進めていく。		
	中国ジェイアールバス株式会社	ノンステップバス導入 平成29年度導入分=0両 平成30年度導入分=0両 令和元年度導入分=2両 令和2年度導入分=1両 令和3年度導入分=0両 令和4年度導入分=2両  D77系統 D79系統 D109系統 D127系統	計画通り低床車両の導入が図れ るよう努めた。	A	A	今後も低床車両の導入が図れるよう 努めていく。		